

2024年3月期 第1四半期  
決算説明資料

2023年8月8日  
株式会社クレハ

## 2024年3月期 第1四半期決算

### 売上・利益推移

	24/3	23/3	1Q
	1Q	1Q	YoY
機能製品	164	245	-81
化学製品	92	66	26
樹脂製品	117	119	-2
建設関連	22	19	2
その他関連	43	43	-0
<b>セグメント別売上収益</b>	<b>438</b>	<b>493</b>	<b>-55</b>
機能製品	12	56	-45
化学製品	7	-3	10
樹脂製品	22	21	1
建設関連	1	1	-0
その他関連	6	6	-0
<b>セグメント別営業利益</b>	<b>48</b>	<b>81</b>	<b>-34</b>
全社調整	2	0	2
<b>営業利益</b>	<b>49</b>	<b>81</b>	<b>-32</b>
<b>当期利益※</b>	<b>32</b>	<b>55</b>	<b>-22</b>

※ 親会社の所有者に帰属する四半期利益

(単位：億円)

24/3	通期 予想	
1H	2H	
390	400	790
190	156	346
238	233	471
60	60	120
82	91	173
<b>960</b>	<b>940</b>	<b>1,900</b>
26	104	130
15	-3	12
30	26	56
2	3	5
7	10	17
<b>80</b>	<b>140</b>	<b>220</b>
		-
<b>80</b>	<b>140</b>	<b>220</b>
53	102	155

### 前年同期比 (YoY)

2024年3月期第1四半期の前年同期比 (YoY) は減収・減益となった。

主な要因として、PVDF売上単価は、原材料価格の低下に連動し2023年3月期第1四半期より継続的に下落。足元では高単価の原材料にて生産した製品在庫がありスプレッドが悪化しているが、今期生産の製品割合が上がる下期に向けて、利益率は改善の見込み。

化学製品は農薬の出荷タイミングにより増収・増益。半期・通期では変更なしの見込み。

# 2024年3月期 第1四半期決算の概要 (1)

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2023/3	2024/3	増減	
	1Q実績	1Q実績	金額	率
売上収益	493	<b>438</b>	-55	-11.2%
セグメント別営業利益	81	<b>48</b>	-34	-41.5%
調整	-0	-1	-1	
その他の収益	2	4	2	
その他の費用	2	1	-1	
営業利益	81	<b>49</b>	-32	-39.4%
金融収益	4	7	3	
金融費用	1	0	-0	
税引前四半期利益	85	<b>56</b>	-29	-34.2%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	55	<b>32</b>	-22	-40.7%
1株当たり四半期利益(円)	279.79	<b>167.25</b>		
為替レート (円/\$)	129.7	<b>137.5</b>		
(円/€)	138.3	<b>149.6</b>		
(円/元)	19.6	<b>19.6</b>		

## < 前年同期比での主な差異要因 >

### 〔売上収益〕

リチウムイオン電池 (LiB) バインダー向けPVDF、業務用食品包装材などの売上が減少し、減収。

### 〔セグメント別営業利益〕

機能製品が減益となり、減益。

### 〔営業利益〕

セグメント別営業利益の減少により、減益。

### 〔親会社四半期利益〕

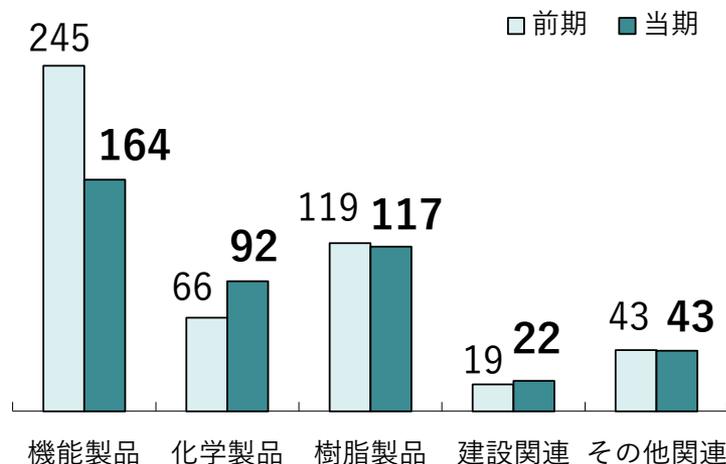
税引前四半期利益の減少により、減益。

**KUREHA**

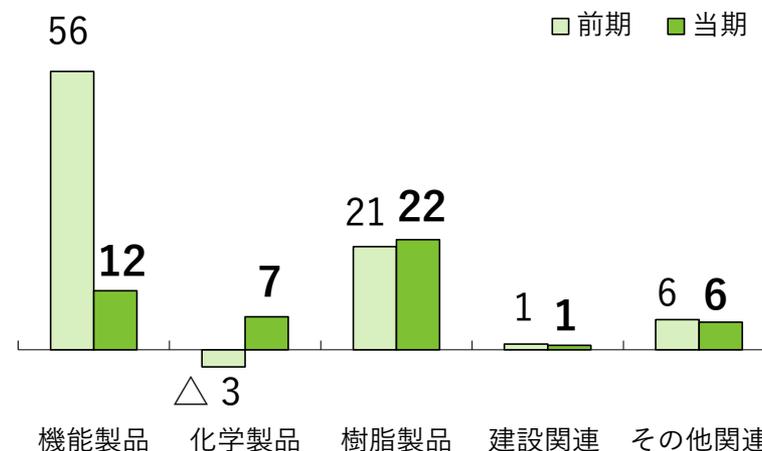
## <セグメント別前年同期比較>

(単位：億円)

【売上収益】



【セグメント別営業利益】



## <セグメント別営業利益の主な増減要因>

- 〔機能製品〕 PVDF原材料価格下落に連動し販売価格が低下、在庫受払差もあり、減益。
- 〔化学製品〕 農薬、工業薬品が増収となり、増益。
- 〔樹脂製品〕 業務用食品包装材は減収となるも、家庭用ラップ、釣り糸が増収となり、あわせて増益。
- 〔建設関連〕 民間工事は増加するも資材等コストの上昇があり、あわせて利益横ばい。
- 〔その他関連〕 産業廃棄物処理は増加するも、運送事業、病院事業が減収となり、あわせて利益横ばい。

(単位：億円)

	2023年 3月期 1Q	2024年 3月期 1Q	増減	
			額	率
機能樹脂	192	<b>119</b>	-73	-38%
炭素製品	15	<b>19</b>	4	26%
その他	37	<b>26</b>	-11	-31%
売上収益	245	<b>164</b>	-81	-33%
営業利益	56	<b>12</b>	-45	-79%

&lt;前年同期比&gt; 売上↓ 営業利益↓

**機能樹脂**

PPS、PGA樹脂加工品などの売上が増加するも、PVDFの販売単価が下落し、減収・減益。

**炭素製品**

高温炉用断熱材向け炭素繊維の売上が増加し、増収・増益。

(単位：億円)

	2023年	2024年	増減	
	3月期	3月期	額	率
	1Q	1Q		
農薬	16	<b>33</b>	17	109%
医薬品	11	<b>9</b>	-2	-18%
工業薬品	21	<b>29</b>	8	39%
その他	19	<b>21</b>	2	13%
<b>売上収益</b>	66	<b>92</b>	26	39%
<b>営業利益</b>	-3	<b>7</b>	10	-

&lt;前年同期比&gt; 売上↑ 営業利益↑

**医薬・農薬**

慢性腎不全用剤「クレメジン」の売上が減少するも、農業・園芸用殺菌剤の売上が増加し、あわせて増収・増益。

**工業薬品**

無機および有機薬品の売上が増加し増収、営業損失から営業利益に。

(単位：億円)

	2023年 3月期 1Q	2024年 3月期 1Q	増減	
			額	率
家庭用品	58	<b>61</b>	3	6%
釣糸	12	<b>13</b>	1	9%
業務用包材	38	<b>32</b>	-6	-16%
その他	11	<b>10</b>	-1	-7%
<b>売上収益</b>	119	<b>117</b>	-2	-2%
<b>営業利益</b>	21	<b>22</b>	1	7%

&lt;前年同期比&gt; 売上↓ 営業利益↑

**家庭用品・釣糸**

家庭用ラップ「NEWクレラップ」、釣糸「シーガー」の売上が増加し、増収・増益。

**業務用包材**

熱収縮多層フィルムおよび塩化ビニリデン・フィルムの売上が減少し減収、経費の減少等により増益。

(単位：億円)

	2023年 3月期 1Q	2024年 3月期 1Q	増減 額	増減 率
--	--------------------	--------------------	---------	---------

## 【建設関連】

売上収益	19	<b>22</b>	2	13%
営業利益	1	<b>1</b>	-0	-21%

## 【その他関連】

環境事業	24	<b>27</b>	2	10%
運送事業	6	<b>4</b>	-2	-35%
病院事業	11	<b>10</b>	-1	-5%
その他	2	<b>2</b>	0	1%
売上収益	43	<b>43</b>	-0	-1%
営業利益	6	<b>6</b>	-0	-8%

今期より上記のセグメントは、各事業の内部売上を消去した売上収益を記載しています。

同様のベースによる前期、今期業績予想の売上収益は、右に記載の通りです。

## 建設関連 &lt;前年同期比&gt; 売上 ↑ 営業利益 →

民間工事の増加により増収となるも、営業利益は前年同期並み。

## その他関連 &lt;前年同期比&gt; 売上 → 営業利益 →

環境事業は、低濃度PCB廃棄物等の産業廃棄物処理の増加により、増収・増益。

運送事業は減収・減益。

病院事業は減収、営業利益から営業損失に。

2023年3月期実績・2024年3月期予想 建設関連・その他関連 売上収益

					23/3	24/3		
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1H	2H	業績予想
建設関連	19	23	27	44	<b>113</b>	60	60	<b>120</b>
環境事業	24	28	33	29	<b>113</b>			<b>107</b>
運送事業	6	7	7	6	<b>26</b>			<b>17</b>
病院事業	11	10	10	10	<b>41</b>			<b>44</b>
その他	2	1	2	1	<b>6</b>			<b>5</b>
その他関連	43	46	52	46	<b>187</b>	82	91	<b>173</b>

## 資産

	2023年 3月末	2023年 6月末	増減
現金・現金同等物	322	333	11
営業・その他債権	319	333	14
棚卸資産	520	535	15
その他流動資産	49	61	11
<b>流動資産計</b>	<b>1,210</b>	<b>1,261</b>	<b>51</b>
有形固定資産	1,174	1,182	8
無形固定資産	45	48	3
投資等	535	581	46
<b>非流動資産計</b>	<b>1,754</b>	<b>1,811</b>	<b>57</b>
<b>資産合計</b>	<b>2,964</b>	<b>3,073</b>	<b>109</b>

## 負債及び資本

(単位：億円)

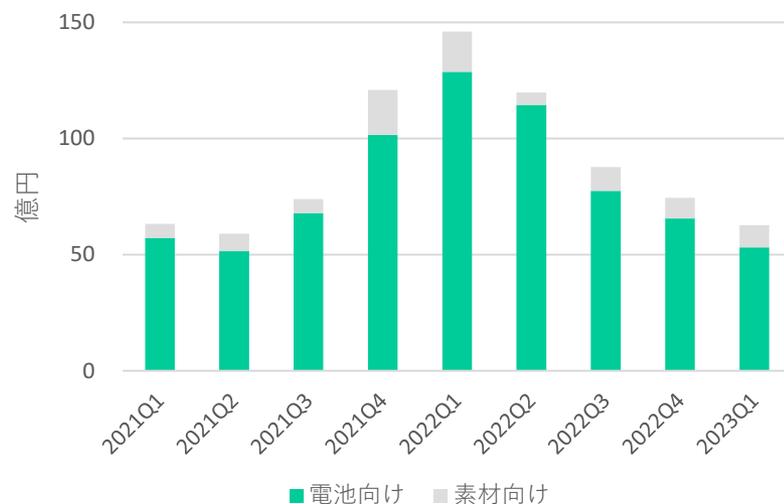
	2023年 3月末	2023年 6月末	増減
営業・その他債務	277	239	-37
有利子負債	263	393	130
引当金	85	65	-20
その他負債	172	183	11
<b>負債計</b>	<b>796</b>	<b>880</b>	<b>84</b>
資本金	182	182	-
資本剰余金	147	147	-
自己株式	-87	-23	64 ※1
利益剰余金	1,790	1,714	-75 ※2
その他の資本	121	157	37
非支配株主持分	16	16	-0
<b>資本計</b>	<b>2,168</b>	<b>2,193</b>	<b>25</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>2,964</b>	<b>3,073</b>	<b>109</b>

※1 … 自己株式消却+91、自己株式取得△27

※2 … 自己株式消却△91、当期利益+32、配当△28 他

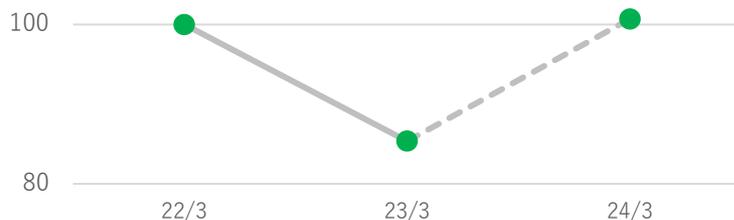
2023年6月30日に自己株式1,280,000株を消却いたしました。

## < PVDF売上収益の推移 >



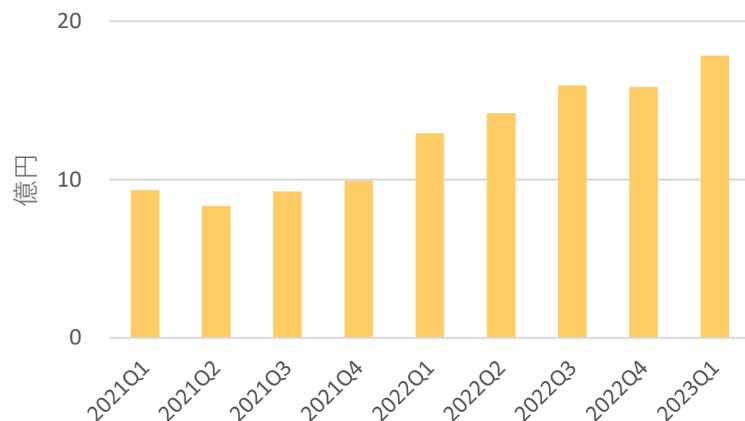
- EV向けLiB需要は引き続き持続的に拡大するものと予想されているが、足元では欧州景気の冷え込みや半導体不足に起因するLiBメーカーの在庫調整が継続している。
- 当社2024年3月期1QのPVDF売上数量は、昨年度下期から横ばいの水準。市場回復、顧客在庫の適正化により、2Qからの反転を見込んでいる。
- 現在はまだ原材料価格が高い在庫があり、受払のタイミングで利益率が悪化。今後、在庫が入れ替わるにつれ、原価率は改善していく。
- 当社は現在の公称能力11,000トンを拡張すべく、いわき事業所での増設検討およびデボトルネックを進めている。2031年3月期までにグローバルで30,000トン以上とする。
- 地政学的なリスクに対応し、複数地域からの原材料調達を開始している。

## < PVDF販売数量（指数） >



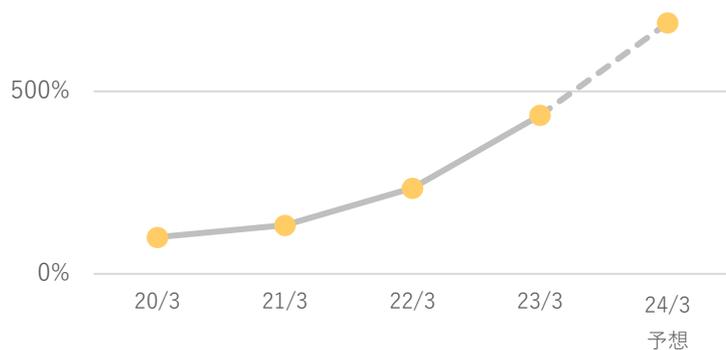
2022/3月期を100とした場合

## <PGA売上収益の推移>



- 北米のシェールオイル・ガス掘削リグ数は、コロナ禍前の90%程度の水準。OPEC減産の影響や地政学的リスクもあり、安定的に推移するものと見込む。
- 市場が横ばいの中、2020年秋からの柔軟な価格対応が奏功し、高・中温鉱区における自社製フラックプラグのフルボア採用（油井全体での一括採用）により、販売数量の拡大が続く。
- 今期は、利便性を向上させた新製品「ショート化プラグ」への置き換えが進み、拡販を後押し。
- 北米市場の過半を占める低温市場向け新製品の市場投入準備を進め、フィールドテストを実施。今期中の販売開始をめざす。

## <PGAプラグ販売数量（指数）> 2023/8/10 修正



2020/3月期を100とした場合

# 2024年3月期 業績予想 概要 (1)

株式会社クレハ

2023年5月12日に公表した数値・内容から変更はありません。

(単位：億円)

	2023/3	2024/3		増減 金額	増減 率
	実績	上期	下期		
売上収益	1,913	960	940	1,900	-13 -0.7%
セグメント別営業利益	243	80	140	220	-23 -9.5%
調整	-2	-	-	-	2
その他の収益	12	3	2	5	-7
その他の費用	30	3	2	5	-25
営業利益	224	80	140	220	-4 -1.6%
金融収益	9	3	3	6	-3
金融費用	2	3	3	6	4
税引前利益	230	80	140	220	-10 -4.3%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	169	53	102	155	-14 -8.1%
1株当たり当期利益(円)	864.30			819.35	
原油(\$/bbl)	96			85	
為替レート (円/\$)	135.5			135.0	
(円/€)	141.0			140.0	
(円/元)	19.8			19.0	

## < 前期比での主な差異要因 >

### 〔売上収益〕

PGA、PPS、農薬、工業薬品などが増収となるも、PVDFが原料価格下落に連動して減収となるため、あわせて前期並み。

### 〔セグメント別営業利益〕

PGAの採算改善により機能製品は増益となるも、経費、研究開発費の増加などにより機能製品以外のセグメントが減益となり、あわせて減益。

### 〔営業利益〕

前期の減損がなくなるも、セグメント別営業利益の減少により、あわせて減益。

### 〔親会社当期利益〕

営業利益の減少により、減益。

**KUREHA**

# 2024年3月期 業績予想 概要 (2)

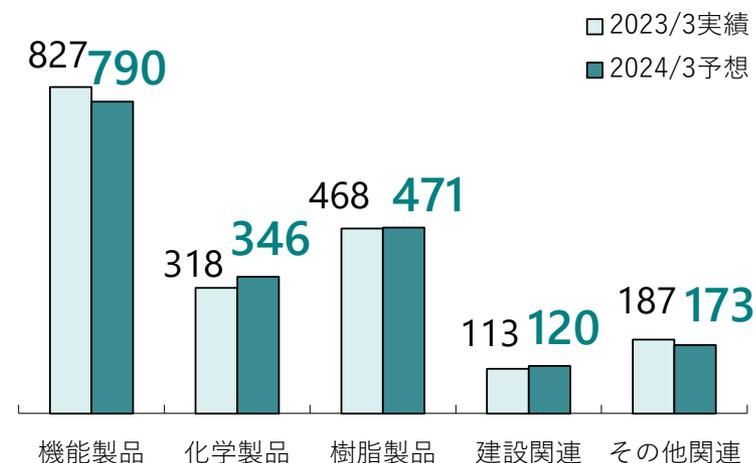
株式会社クレハ

2023年5月12日に公表した数値・内容から変更はありません。

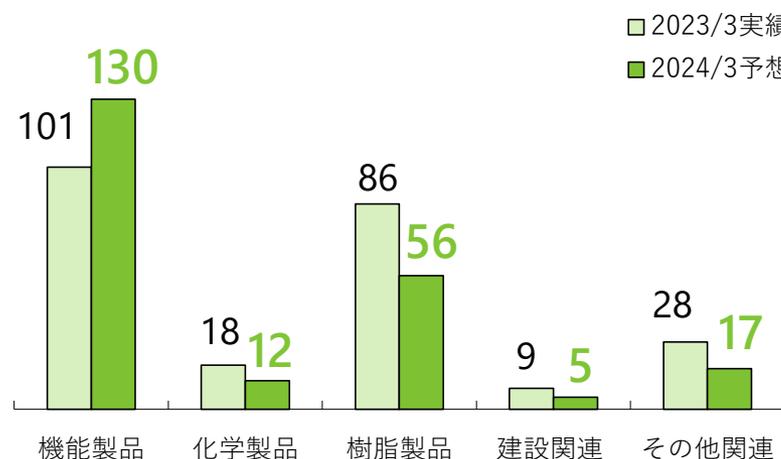
## <セグメント別 前期比較>

(単位：億円)

【売上収益】



【セグメント別営業利益】



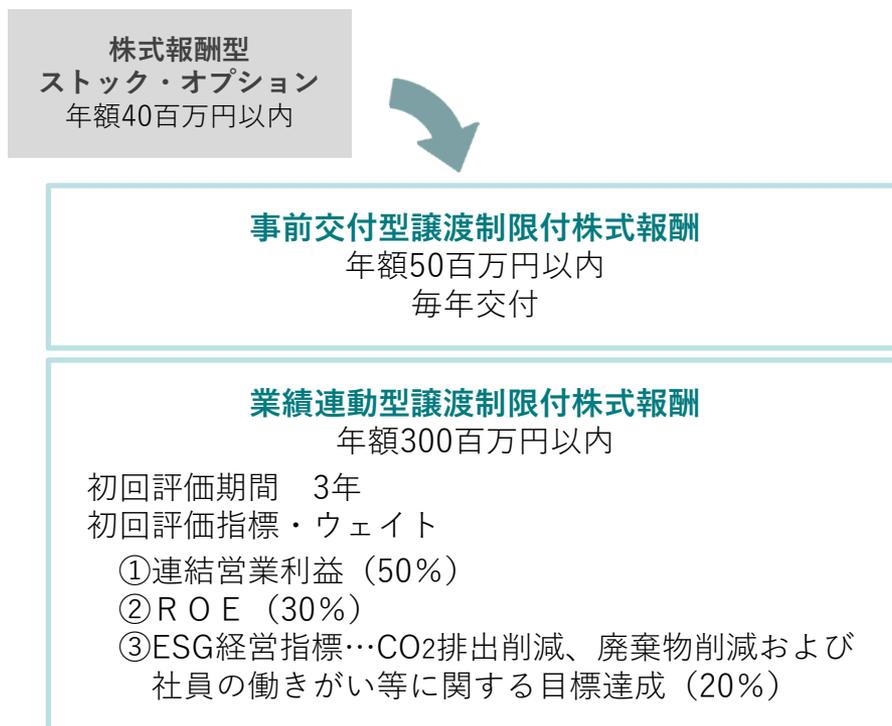
## <セグメント別営業利益の主な変動ポイント>

- 〔機能製品〕 PVDFが売価下落による減収と原材料が高い時期に生産した製品の払い出しによる損益悪化があるも、PGAの在庫評価減の減少による損益改善があり、あわせて増益。
- 〔化学製品〕 原燃料高騰の価格転嫁を進めるも、農薬の開発費増加、医薬品の薬価改定等により、減益。
- 〔樹脂製品〕 家庭用品の販売減少と経費増加、業務用包材の原燃料高騰等により、減益。
- 〔建設関連〕 競争激化や資材の高騰により、減益。
- 〔その他関連〕 低濃度PCB処理の減少により、減益。

**KUREHA**

## 株式報酬制度の導入

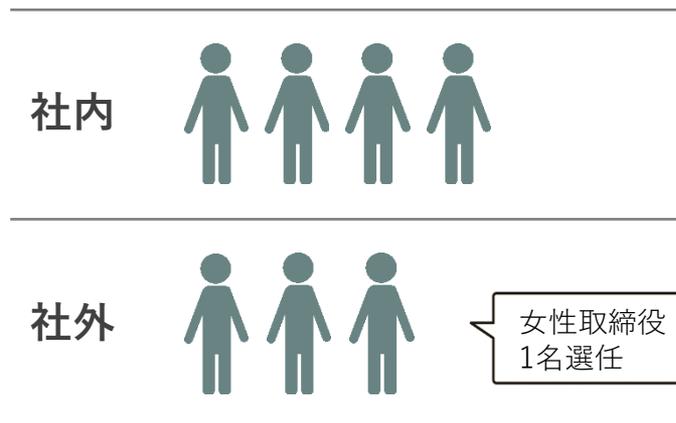
社外取締役を除いた取締役、当社の企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与えると同時に、株主の皆様との一層の価値共有を進めること、および当社の業績と取締役の報酬との連動性を明確にすることを目的として、株式報酬制度を導入いたしました。



## 女性社外取締役選任

当社は、新たに女性社外取締役1名を選任し、2023年6月の定時株主総会において可決されました。当社は多様な背景や視点を持つ取締役の参画により、意思決定プロセスがより包括的かつバランスの取れたものとなることを目指しています。また、今後とも持続可能な成長を実現するために、さまざまなレベルでコーポレートガバナンスの強化をしていきます。

### 取締役構成比



- 本資料はあくまで当社をより深くご理解いただくための資料であって、本資料による投資等何らかの行動を勧誘するものではありません。
- 本資料は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の判断により作成されておりますが、実際の業績が様々な要素により計画とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。
- 本資料のご利用に関しましては、ご自身の判断と責任にてお願いいたします。